



社会貢献支援財団、
「平成18年度社会貢献者表彰」の
受賞者を発表

緊急時の功績など三部門29件に対し、日本財団賞を贈呈

社会貢献支援財団（会長 猪熊葉子）は、「平成18年度（第36回）社会貢献者表彰」の受賞者を発表した。

同財団は日本財団の助成を受け、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、昭和46（1971）年以来、毎年秋に社会貢献者表彰を行っており、昨年までの表彰件数累計は、1万1千6百件以上に上っている。

5月15日までに寄せられた210件の推薦の中から選考の結果、第一部門「緊急時の功績」2件、第二部門「多年にわたる功労」18件、第三部門「特定分野の功績」9件、合計29件を表彰することとなった。第一、第二部門には『日本財団賞』として副賞100万円を、第三部門のうち「海の貢献賞」、「ハッピーファミリー賞」には『日本財団賞』として副賞100万円、「21世紀若者賞」には20万円が、各件ごとに贈られる。

なお、表彰式典は11月20日（月）に東京全日空ホテルで行われる。

「平成18年度社会貢献者表彰」の概要

- *候補 : 210件
- *受賞 : 29件

受賞内訳

- ・第一部門 : 2件 緊急時の功績／日本財団賞（副賞100万円）
- ・第二部門 : 18件 多年にわたる功労／日本財団賞（副賞100万円）
- ・第三部門 : 9件 特定分野の功績／日本財団賞（副賞100万円）

※上記部門のうち21世紀若者賞のみ日本財団賞（副賞20万円）

第三部門の各賞の内訳

- 海の貢献賞 2件
- ハッピーファミリー賞 2件
- 21世紀若者賞 5件

功績区分の内容

第一部門＜緊急時の功績＞

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績

第二部門＜多年にわたる功労＞

- ・精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績
- ・その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

第三部門＜特定分野の功績＞

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良等をされた方の功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

『ハッピーファミリー賞』

- ・多くの子供を育て苦労を重ねながらも明るく生きてこられた方や、親や家族の尊さを自覚しそのために尽くす若者の功績

『21世紀若者賞』

- ・自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

表彰選考委員

- 委員長 日下 公人（前 東京財団 会長）
猪熊 葉子（聖心女子大学 名誉教授、社会貢献支援財団 会長）
金平 輝子（元 東京都副知事、日本司法支援センター理事長）
犬丸 一郎（トット基金 理事）
藤原 正彦（お茶の水女子大学 教授）
内館 牧子（脚本家）
太田 正利（元 特命全権大使）
神津 十月（エッセイスト）
三宅 久之（政治評論家）
屋山 太郎（政治評論家）
米長 邦雄（社）日本将棋連盟 会長

報道関係のお問い合わせ先

社会貢献支援財団 <http://www.fesco.or.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル2階
TEL : 03-3502-0910
FAX : 03-3502-7190
E-mail : fesco@mve.biglobe.ne.jp

平成18年度 表彰受賞者 (計29件)

【第一部門】 緊急時の功績

2件

(敬称略)

番号	受賞者名	年齢	都道府県	生年月日
1	みつもと たけし 二本 健志	30歳	新潟県	昭和51年3月11日
2	さわやま ゆうき 澤山 祐樹	17歳	愛知県	平成元年3月23日

【第二部門】 多年にわたる功労

18件

3	むらかみ かずえ 村上 一枝	66歳	東京都	昭和15年2月27日
4	いわた みつこ 岩田 美津子	54歳	大阪府	昭和27年6月11日
5	ちよう ようひろ 長 洋弘	59歳	埼玉県	昭和22年7月6日
6	たじま しんじ 田島 伸二	59歳	東京都	昭和22年8月3日
7	あるとろ くなん じゅにあ Dr.Arturo C.Cunanan,Jr.MD,MPH	48歳	フィリピン	1958年9月6日
8	おおもり かずお 大森 和夫	66歳	東京都	昭和15年4月22日
	おおもり ひろこ 大森 弘子	66歳	東京都	昭和15年8月16日
9	リー みんよん 李 敏龍	74歳	韓国	1932年5月23日
10	あらい ゆうじ 荒井 裕司	59歳	東京都	昭和22年5月24日
11	ふくたに のりえ 福谷 則枝	61歳	鳥取県	昭和20年2月23日
12	あおかた みえ こ 青方 美恵子	61歳	神奈川県	昭和20年1月24日
13	ふじもと はるこ 藤本 晴子	64歳	高知県	昭和17年10月1日
14	とうさ みゆき 藤佐 美幸	52歳	佐賀県	昭和29年8月31日
15	かどがわ たかのぶ 門川 貴信	48歳	宮崎県	昭和32年12月26日
16	ねもと あきお 根本 昭雄(Fr. Nicholas Nemoto,O.F.M.)	75歳	ロシア	昭和6年9月21日
17	かつさいが ほんみよぶに とみお 桂 才賀(本名 谷 富夫)	56歳	東京都	昭和25年7月12日
18	えぐち きたえ 江口 喜多枝	51歳	東京都	昭和30年1月22日
19	うえはら ひろゆき 上原 裕之	45歳	大阪府	昭和36年11月2日
20	にしざき はるきち 西崎 春吉	79歳	北海道	昭和2年3月3日

【第三部門】 特定分野の功績(以下1~4の合計 9件)

1. 海の貢献賞

2件

21	にしの ひろし 西野 弘	60歳	長崎県	昭和21年6月30日
22	いいむら よしゆみ 飯村 義海	65歳	青森県	昭和16年7月12日

3. ハッピーファミリー賞

2件

23	やまもと かずはる 山本 一春	79歳	宮崎県	昭和2年9月8日
	やまもと わかこ 山本 若子	79歳	宮崎県	昭和2年11月9日
24	にしかわ 西川 カオル	84歳	北海道	大正11年8月19日

4. 21世紀若者賞

5件

25	くどう けい 工藤 啓	29歳	東京都	昭和52年6月2日
26	さだな たば Sadhana Thapa	19歳	ネパール	1987年8月5日
27	まつもと あさみ 松本 麻美	22歳	神奈川県	昭和59年6月25日
28	しまね がくせいがい 島根学生災害ボランティアネットワーク		島根県	
29	よしだ ひろみ 吉田 浩美	25歳	大阪府	昭和56年7月22日

*年齢は平成18.11.20基準に表示してあります。

第一部門＜緊急時の功績＞

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績

三本 健志 (昭51. 3.11生 30歳／新潟県)

死者5人、重軽傷者32人を出した特急脱線転覆事故で、情報が少しでも遅れると、被害拡大につながる事が充分予想された中、関係部署への早期通報や乗客への救助・応急手当活動を行い被害の防止に大きく役立った。

推薦者 : 全国消防長会／新潟県見附市消防本部
近藤 辰夫

澤山 祐樹 (平成元年 3.23生 17歳／愛知県)

液体をカウンターに撒き、「火をつけるぞ金を出せ」と脅した名古屋市北区の郵便局強盗事件において、自転車で逃走する犯人を身の危険も顧みず追跡し、凶器を持った犯人に怯むことなくこれを取り押さえ、事件解決に協力された。

推薦者 : (財)警察協会

第二部門＜多年にわたる功労＞

- ・精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績
- ・不潔、非衛生等、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績
- ・その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績

村上 一枝 (昭15. 2. 27生 66歳／東京都)

地球温暖化によって地球の陸地の約41%に砂漠化が進んだと言われる。サハラ砂漠がその3分の2以上を占める過酷な条件にある西アフリカの内陸国マリ共和国で、13年間にわたって村人たちの生活改善に取り組んでいる。

推薦者 : 秋山 忠正

岩田 美津子 (昭27. 6. 11生 54歳／大阪府)

視覚障害の親が子どもに絵本を読み聞かせる方法を開発し、その絵本の製作と全国無料貸出しを行うボランティアグループを始めて22年、点訳絵本の郵送無料化も実現させ、視覚障害者の福祉に大きく貢献している。

推薦者 : 島 多代

長 洋弘 (昭22. 7. 6生 59歳／埼玉県)

大戦後インドネシア残留を選択した元日本兵を、長期間取材してまとめた著書と写真展がきっかけとなり、残留元日本兵の日本国内における名誉の回復とインドネシアにおける地位の向上に大きく貢献した。

推薦者 : 角原 勝義

田島 伸二 (昭22. 8. 3生 59歳／東京都)

パキスタンの刑務所に収容され、再起のため識字と読書を渴望する子ども達のために所内に図書館を開設して彼らに知識と希望を与え、アジアの人々に紙漉きの方法を教えて識字学習に必要な紙を自ら作り出すことを可能にした。

推薦者 : 黒川 妙子

Dr. Arturo C. Cunanan, Jr. MD, MPH (1958. 9. 6生 48歳／フィリピン)

90年以上にわたりハンセン病患者隔離の島であったフィリピン クリオン島で、MD Tによりハンセン病の完全制圧に成功し、回復者自立のための自助努力を支援するかたわら同島の歴史の検証とアイデンティティの確立に貢献した。

推薦者 : 紀伊國 献三

大森 和夫・弘子 (昭15. 4. 22生 66歳／昭15. 8. 16生 66歳／東京都)

中国で日本語を勉強する大学生に日本と日本人を理解してもらうため、日本語で書いた教材「日本」を作成・寄贈し日本語作文コンクールを開催するなどの活動を、私費を投じ17年間続けている。

推薦者 : 高 媛

李 敏龍 (1932. 5. 23生 74歳／韓国)

日韓両国で受けた教育と生育歴に基づく両国の歴史文化に対する深い造詣を生かして、両国間の活発な民間交流と円滑な意志疎通、正しい相互理解の促進に貢献した。

推薦者 : 百崎 英

荒井 裕司 (昭22. 5. 24生 59歳／東京都)

不登校や、ひきこもりの子どもの家へ自ら出向く『夜の家庭訪問』を20年以上続けて1000人以上の子どもと関わり、東京国際学園高等部や「登校拒否の子どもの進路を考える会」を設立して社会復帰を援けるなど、不登校やひきこもりに苦しむ多くの親子を救ってきた。

推薦者 : 武藤 啓司

福谷 則枝 (昭20. 2. 23生 61歳／鳥取県)

親が犯罪を犯して収監された2児を引き取り育て上げたことを契機に、里親として18年間に8人の子供を養育し、虐待児と高齢の障害者を引き取って世話をするかたわら里親会の要職にあって里親制度の充実に尽されている。

推薦者 : 日置 久枝

青方 美恵子 (昭20. 1.24生 61歳／神奈川県)

30年以上にわたり障害児や非行児とその親を支援し、問題を抱えた子供・親・学校・地域間の話し合いに中立の立場で同行または代わって話し合いを行いより良い解決を図る『リエゾン』活動を行っている。

推薦者 : 村上 久子

藤本 晴子 (昭17.10. 1生 64歳／高知県)

多年にわたり支援・保護の必要な児童生徒の更生支援活動を通じて健全な社会の一員として復帰させるなど、地域社会の福祉向上に尽くされている。

推薦者 : 高知市教育研究所

藤佐 美幸 (昭29. 8.31生 52歳／佐賀県)

BBS(ビッグ・ブラザーズ・アンド・シスターズ・ムーブメント)の佐賀地区のボランティア活動で26年間、青少年の心の闇に光を当て、非行防止や立直りの手助けを願い活動を行っている。

推薦者 : 佐賀県BBS連盟

門川 貴信 (昭32.12.26生 48歳／宮崎県)

宮崎の豊かな自然と人々に触れる中で、不登校児の生命力を高め豊かにして、学校と社会に必ず戻すことを目的にセカンドスクールを開校し、無償の活動を通じて大きな実績を挙げている。

推薦者 : 長谷川 隆治

根本 昭雄 (Fr. Nicholas Nemoto, O.F.M.) (昭 6. 9.21生 75歳／ロシア)

南ア共和国で死を目前にしたエイズ患者の心のケアと看護に15年にわたって取り組み、彼らが人間の尊厳を保ちながら喜びと平和のうちに旅立つよう力を尽くし、また孤児・身障者・ハンセン病患者の福祉向上とスラムの支援に尽力した。

推薦者 : 社会貢献支援財団 事務局

桂 才賀（本名 谷 富夫） （昭25. 7. 12生 56歳／東京都）

落語家七代目桂才賀として活躍する一方、20年にわたり少年院篤志面接委員として全国の少年院を訪問して少年達と本音の話し合いを続けるほか、P T A、自衛隊、刑務所等での講演や慰問活動を行うなどボランティア活動に力を注いでいる。

推薦者 : 社会貢献支援財団 事務局

江口 喜多枝 （昭30. 1. 22生 51歳／東京都）

食糧並びに教育援助を柱として「モンゴル子ども支援国際ボランティアネットワーク」を設立し、率先してモンゴルの孤児院の支援、奨学生の援助、文化交流等を行っている。

推薦者 : 草賀 郁子

上原 裕之 （昭36. 11. 2生 45歳／大阪府）

ホルムアルデヒドを初めとする有害化学物質の住建材への使用による人体への被害をなくし、安全な住環境を確保するための法改正実現に貢献し、政・官・学・業の各界に呼びかけて有効なシックハウス対策実現に努力している。

推薦者 : 上原 まゆみ

西崎 春吉 （昭 2. 3. 3生 79歳／北海道）

映写機、スクリーンなどの道具一式をワゴン車に乗せ、北海道函館市を中心に映画館のない町をまわり公民館などを利用して映画を見せる「移動映画館」の活動を38年にわたり続けている。

推薦者 : 八木 繁

第三部門<特定分野の功績>

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において長年の経験を持ち、技能が傑出している方、その分野を大きく前進させる発明・考案・改良等をされた方の功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

西野 弘 (昭21. 6. 30生 60歳/長崎県)

韓国、中国の台頭が目覚しい造船業界において、その重要なパーツであるクランク軸の加工に30年以上にわたり従事し、わが国の業界を支え、まだまだ量・質両面において他国の追随を許さない。

推薦者 : (社) 日本船用工業会

飯村 義海 (昭16. 7. 12生 65歳/青森県)

船舶電装工事42年、電気を通しての各種試験や検査のすべての作業を経験し、高性能船舶を生み出す電装工事の第一人者として技術・技能継承を積極的に行い我が国の造船業に貢献している。

推薦者 : (社) 日本船舶電装協会

第三部門<特定分野の功績>

『ハッピーファミリー賞』

- ・多くの子供を育て苦勞を重ねながらも明るく生きてこられた方や、親や家族の尊さを自覚してそのために尽くす若者の功績

山本 一春・若子 (昭 2. 9. 8生 79歳／昭 2. 11. 9生 79歳／宮崎県)

最重度障害をもった孫の誕生をきっかけに障害児とその家族等を毎年芋掘りに招くボランティアをはじめて30年。一家は障害の孫を中心に3世代が強い家族の絆で結ばれている。

推薦者 : 児玉 龍典

西川 カオル (大11. 8. 19生 84歳／北海道)

1947年、大家族(14人兄弟)の農家の長男に嫁ぎ、嫁としてそして母親代わりとして、あまり丈夫でなかったご主人に代わり、朝早くから夜遅くまで農作業をしながら、生活をやりくりし家族の融和に努め、弟7人の独立、姉妹7人を嫁がせるとともに、子供4人を育てあげた。

推薦者 : 濱岡 則子

第三部門<特定分野の功績>

『21世紀若者賞』

- ・自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績

工藤 啓 (昭52. 6. 2生 29歳/東京都)

昨今、急速に社会問題化している若年者の不登校、ニート、ひきこもり、フリーター等の問題に対し、社会参加と経済的自立を目標にさまざまな形のサポートを実践している。

推薦者 : 石山 義典

Sadhana Thapa (1987. 8. 5生 19歳/ネパール)

ネパールの美しい自然と生活環境を守るための活動を次々と組織して若者、地域社会に助け、子ども達に環境保全の大切さを教え、環境・教育・産業分野で積極的なケナフの利用を推進している。

推薦者 : 吉岡 大祐

松本 麻美 (昭59. 6. 25生 22歳/神奈川県)

幼少時代に体験し感じた子供の人権を守ることの大切さと、高校時代の留学先での途上国からの学生との交流を基に、社会へストリートチルドレンへの支援と行動を起こす大切さを発信し続けている。

推薦者 : 堀越 信二

島根学生災害ボランティアネットワーク (島根県)

島根県内の大学生がボランティアネットワークを組織して新潟中越地震被災地を支援し、その後も内外被災地の支援活動や災害支援の啓蒙活動を継続実施し、同地域の災害時対策連絡会の発足や防災マニュアルの作成などの呼び水となった。

推薦者 : 松江市 市民部市民活動推進課

吉田 浩美

(昭56. 7.22生 25歳／大阪府)

戦争で飢餓や食料問題を抱えている国や地域への支援に、自らの専門を生かしてデザインしたTシャツの購入即支援になるというユニークなシステムを考案・実施して、普段は無関心な若者の目を世界の戦争と飢餓の問題に向けさせている。

推薦者 : 井上 雅人